

ソーシャルキャピタル
からみる現代社会の変容
教授 / 竹本 達也

人間関係資本などとも称される様々な様態の「つながり」にスポットを当て、その社会的意味や歴史的変遷を概観しつつ、私たちが生きている社会の実情をひもといていきます。

テキストとして
新聞記事をよむ
教授 / 竹本 達也

典型的な活字媒体である新聞は、ネットやSNSが普及した今日なお重要な社会的位置を占めています。しかしながら、いわゆる「活字離れ」といわれる現象の中でその位置が大きく変わりつつあるようにも思えます。そこでこの機会に、ごく基本的な読解の技法をいくつかみていきたいと思います。

学力が低いのは
努力不足のせい？
- 学力を社会学的視点から見る -
教授 / 尾場瀬 一郎

これまで学力は、努力の量と比例すると考えられてきた / 考えられている。ところが社会学的には、子どもの学力は家庭の経済力や文化的環境とより強い相関関係があることがわかっています。今回、子どもの学力が家庭の経済力等とどのように繋がっているのか、データを基にして考えてみましょう。

メディアを学問する
准教授 / 福永 健一

私たちの身の回りには、多種多様なメディアがあります。それらのメディアは、いつからあって、なぜそのような様態として存在しているのでしょうか。また、メディアは私たちの生活様式や考え方をどのように規定しているのでしょうか。この講義では、メディアについて、社会学やメディア論という学問から考えていきます。

日本の社会を異文化からの
視点で見よう
准教授 / 山下 大輔

「日本の普通」は、世界では「異常」かもしれない？
外国人住民が増え続ける今、私たちに求められているのは、単なる語学力ではなく「当たり前を疑う眼差し」です。この講義では多次元文化モデルという強力なツールを用い、日本社会の深層を可視化。ワークショップ形式で、異文化の視点から自分たちを捉え直す体験を共有します。共生社会を生き抜くための「社会学的想像力」を一緒に養いましょう。

フード・ツーリズム
准教授 / 山中 雅大

日本における観光やレジャーの発展には「食文化」や「食環境」の繁栄が背景にありました。本講義では、「外食」の変化や受容の変遷を視点として、どのように「食の旅＝フード・ツーリズム」が誕生し現在に至ったのかを、かいつまんでご紹介します。